

(2011/9/7版)

## 第5回赤道大気レーダーシンポジウム 第182回生存圏シンポジウム

日時: 平成23年9月8日(木) 13:30~18:00 (懇親会 18:15~20:00)

9日(金) 9:30~11:50

場所: 京都大学 宇治キャンパス 木質ホール大会議室

主催: 京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

### プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月8日

(座長: 川村誠治)

13:30 - 13:40 あいさつ

赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 橋口浩之(京大RISH)

13:40 - 14:00 インドネシアの宇宙天気研究推進と体制構築 プロジェクトの現状報告2011  
山本衛・橋口浩之・山本真之(京大RISH)・大塚雄一(名大STE)・長妻  
努・津川卓也(情報通信研究機構)・Sri Kaloka(LAPAN, インドネシア)

14:00 - 14:20 インドネシア・コトタバンにおける沿磁力線不規則構造のレーダー観測  
大塚雄一・西岡未知・塩川和夫(名大STE)・山本衛(京大RISH)・  
Effendy (LAPAN, インドネシア)

14:20 - 14:40 インドネシアのVHFレーダーおよびSEALION観測網データを用いた真夜中過  
ぎ電離圏擾乱の研究

西岡未知・大塚雄一(名大STE)・津川卓也(NICT)・塩川和夫(名大STE)

14:40 - 15:00 大気光撮像による赤道域での中規模伝搬性電離圏擾乱と中間圏大気重力波  
の同時観測

福島大祐・塩川和夫・大塚雄一・西岡未知(名大STE)

15:00 - 15:20

=== 休憩 ===

(座長: 櫻井南海子)

15:20 - 15:40 西スマトラ山岳地域における季節内変動に関連した降水システムの特徴  
柴垣佳明(大阪電通大)・橋口浩之(京大RISH)・下舞豊志・古津年章(島  
根大)・濱田純一・森修一・山中大学(JAMSTEC)・深尾昌一郎(福井工  
大)

15:40 - 16:00 赤道大気レーダー・偏光ライダーによる層状性降水の詳細観測  
山本真之・橋口浩之(京大RISH)・妻鹿友昭(京大理)・柴田泰邦・阿保  
真(首都大)・下舞豊志(島根大)・柴垣佳明(大阪電通大)・山本衛(京  
大RISH)・山中大学(JAMSTEC)・深尾昌一郎(福井工大)・Timbul  
Manik(LAPAN, インドネシア)

16:00 - 16:20 熱帯対流圏界面領域の赤道ケルビン波通過にともなう雲頂高度の変動につ  
いて

鈴木順子(JAMSTEC)・藤原正智(北大)・濱田篤(AORI)・稲飯洋一(東北  
大)・山口潤(JAXA)・城岡竜一(JAMSTEC)・長谷部文雄(北大)・鷹野敏  
明(千葉大)

16:20 - 16:40 赤道波動擾乱の等価深度による降水特性の違い

安永数明(JAMSTEC/RIGC)

16:40 - 17:00

=== 休憩 ===

(座長: 下舞豊志)

- 17:00 - 17:20 スマトラ島西岸沖の多雨要因についての考察  
櫻井南海子(NIED)・森修一(JAMSTEC)・川島正行・藤吉康志(北大低温研)・濱田純一(JAMSTEC)・Wendi Harjupa(LAPAN)・橋口浩之(京大RISH)・Fadli Syamsdin(BPPT)・松本淳(JAMSTEC, 首都大)・山中大学(JAMSTEC, 神大理)
- 17:20 - 17:40 航空安全運航のための次世代ウィンドプロファイラによる乱気流検出・予測技術の開発  
橋口浩之・山本衛・東邦昭(京大RISH)・川村誠治(NICT)・足立アホロ(気象研)・梶原佑介・別所康太郎(気象庁/気象研)・黒須政信(日本航空)
- 17:40 - 18:00 1. 3GHz帯ウィンドプロファイラによる航空路上の乱気流監視の可能性  
梶原佑介(気象庁/気象研)・橋口浩之・山本衛・東邦昭(京大RISH)・川村誠治(NICT)・足立アホロ(気象研)・別所康太郎(気象庁/気象研)・黒須政信(日本航空)

18:15 - 20:00 === 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月9日

(座長: 柴垣佳明)

- 9:30 - 9:50 衛星通信回線の降雨減衰統計の長期変動特性と赤道域気候変動について  
前川泰之・柴垣佳明(大阪電通大)・佐藤亨(京大情報学)・山本衛・橋口浩之(京大RISH)・深尾昌一郎(福井工大)
- 9:50 - 10:10 Statistical Analysis of Precipitation Propagation over Indonesia Based on Infrared Brightness Temperatures Observation  
Marzuki, Hiroyuki Hashiguchi, Masayuki K. Yamamoto (京大RISH), Manabu D. Yamanaka, Shuichi Mori (JAMSTEC)
- 10:10 - 10:30 EARおよびBLRを用いたインドネシア域の雨滴粒径分布高度プロファイルの季節内変動  
浅越章宏・古津年章・下舞豊志(島根大)・橋口浩之(京大RISH)・藤吉康志(北大低温研)

10:30 - 10:50 === 休憩 ===

(座長: 橋口浩之)

- 10:50 - 11:10 赤道域対流圏界面領域オゾンの高分解能観測用ライダーの開発  
長澤親生・柴田泰邦・阿保真(首都大)
- 11:10 - 11:30 熱帯対流圏界面遷移層における東西非一様な温度場の成層圏準二年周期振動にともなう変動  
西本絵梨子・塩谷雅人(京大RISH)
- 11:30 - 11:50 熱帯対流圏界面遷移層にみられる大規模な東進擾乱とオゾン変動との関係  
小石和成・塩谷雅人(京大RISH)・鈴木順子(JAMSTEC)

---

お願い

(1) 懇親会について

- 参加費: 一般: 4,000円、学生: 2,000円 (予定)  
会場: 京都大学宇治キャンパス生協2階「ピアチ」  
申込み: 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口 (hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp) まで御連絡下さい。

(3) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

用紙: A4縦

ページ数: 2~6ページ

原稿締切: 2011年9月30日(金)

送付方法: WORDまたはPDFファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先: 電子メール: ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考: 白黒印刷で作成します。